

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館		■担当係	奉仕係
■評価事業名称	地域図書館運営事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	402100 - 109	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条			
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	図書資料の効果的活用と地域活動支援で、読書の輪を広げ地域住民の読書意欲が高まる。地域図書館の運営委託一常盤台地域土曜文庫、野中地域文庫(月1回の開館、資料の貸出・返却・行事開催他)			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	地域図書館運営	地域住民	野中地域文庫・常盤台地域土曜文庫 2地域利用者数と貸出冊数	野中地域文庫 常盤台地域土曜文庫 2地域利用者数 野中360人 常盤台643人 貸出冊数 野中50冊 常盤台929冊

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	48	43	43	42	
人件費	463	149	150	153	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	511	192	193	195	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	開館日数当りコスト					
	3地域の延利用冊数	1,127冊	1,171冊	1,049冊	979冊	2地域図書館の利用冊数の合計
	3地域の延利用人数	1,187人	1,234人	1,013人	1,003人	利用者数の合計。

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

利用人数当りコスト					
3地域の開館延日数	274日	280日	282日	276日	土・日のほかに、「七夕祭り」等の公民館行事に合わせて開館している。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

予定どおり実施している。

問題点・課題等

子どもの数の減少により利用者数も微減している。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

ボランティアにより管理運営されており、同額で他の団体による運営は難しいと思われる。今後も除籍本の提供など支援を行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了